

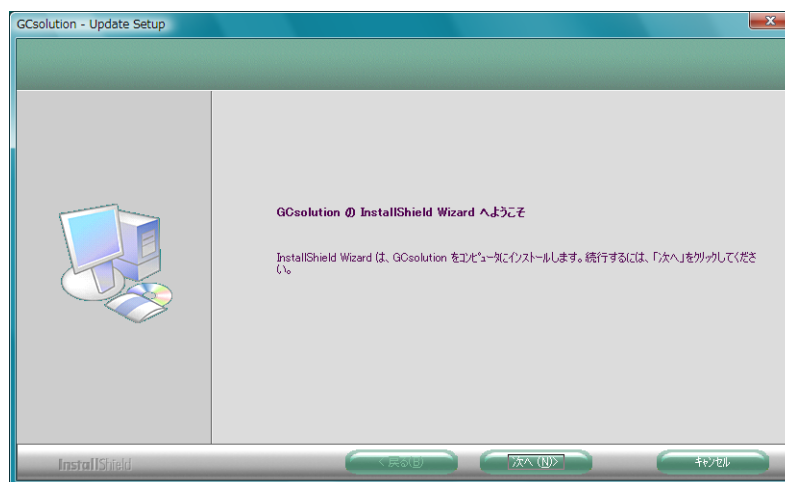
GCsolution アップデートキット

1 部品一覧

品番	品名	個数
1	GCsolution アップデートディスク	1
2	GCsolution アップデートキット（本説明書）	1

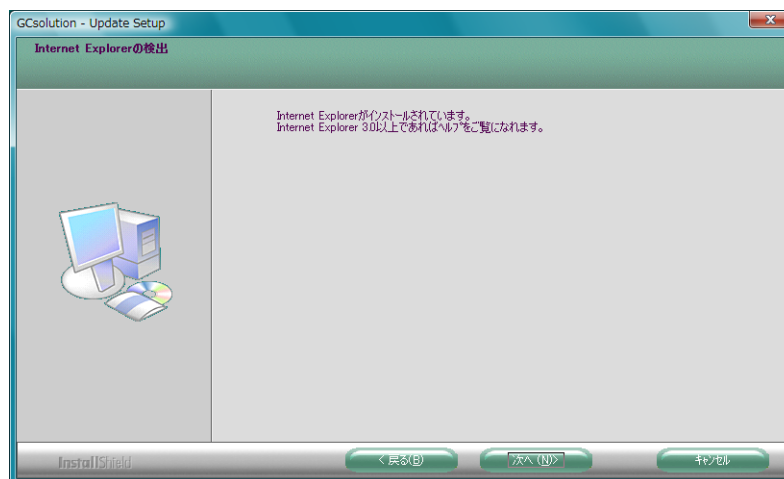
2 アップデート ディスクのインストール手順

1. Ver.1.00 ~ Ver.2.42 SU2 をアップデートできます。パソコンを起動し、Windows が起動したら、CD-ROM ドライブにアップデート ディスクをセットします。「GCsolution のセット アップ」が自動的に起動し、〈ようこそ〉が開きます。〈ようこそ〉画面の [次へ >] ボタンをクリックします。
 - Windows Vista または Windows 7 の場合、「Autorun.exe の実行」か「ファイルフォルダを開いて表示する」かを選択する [自動再生] 画面が表示されることがあります。インストール時に自動再生するためには「Autorun.exe の実行」を選択してください。また、このとき「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」という [ユーザーアカウント 制御] 画面が表示された場合は、[続行] を選択してください。
 - 自動的に〈ようこそ〉が開かない場合は、【スタート】ボタンの【ファイル名を指定して実行】をクリックし、表示された〈ファイル名を指定して実行〉の [名前] テキスト ボックスに E:¥Japanese¥Setup.exe と入力して [OK] ボタンをクリックしてください。（ここで E: の部分には、CD-ROM ドライブを指定します）Windows Vista または Windows 7 をご使用の場合は、タスクバーの【スタート】メニューから【すべてのプログラム】 - 【アクセサリ】 - 【ファイル名を指定して実行】の順に選択してください。



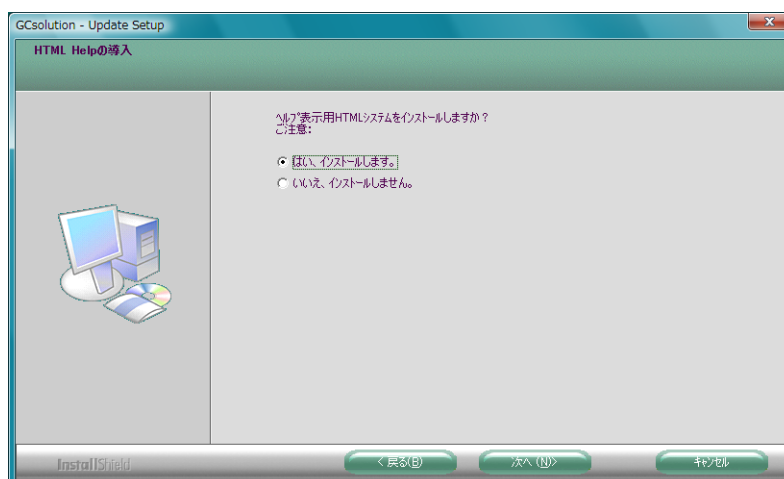
2. 〈Internet Explorer の検出〉画面が開きます。

[次へ>] ボタンをクリックします。

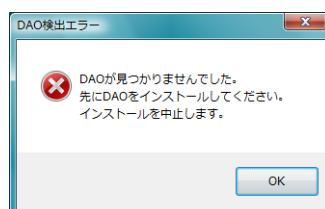


3. 〈HTML Help の導入〉画面が開きます。

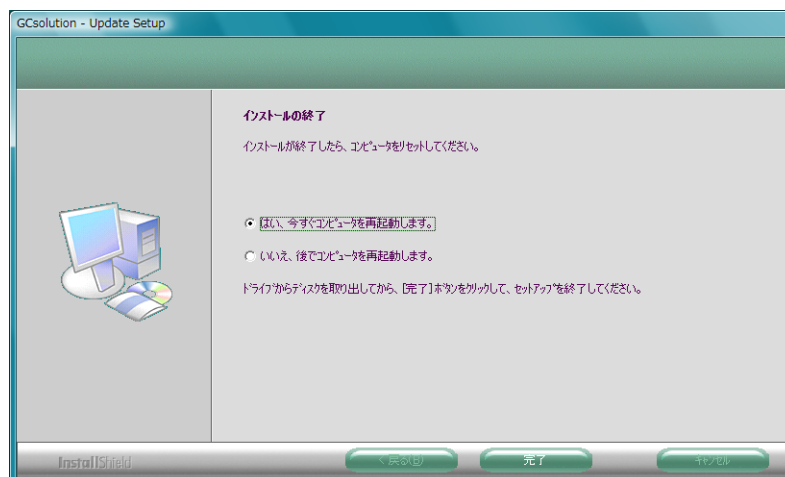
通常「はい、インストールします。」の方を選択します。ヘルプを見る必要がないことがわかっている場合や、Internet Explorer のバージョンに問題がある場合は、「いいえ、インストールしません。」を選択します。選択し終わったら [次へ>] ボタンをクリックします。



- ・ 〈HTML Help の導入〉で [次へ>] ボタンをクリックしたときに、〈DAO の検出〉が開いた場合は、[OK] ボタンをクリックしてインストールを中止し、操作編の「DAO のインストール」を参考に、DAO (Data Access Objects) をインストールしてから、もう一度 GCsolution のインストールをしてください。





4. インストールが終了すると、〈インストールの終了〉画面が開きます。



5. [完了] ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。

3 GCsolution Agent の使用に関するご注意

GCsolution のバージョン 2.21 以前と GCsolution Agent を合わせて使用されていた場合、バージョン 2.4 にアップデート後も、データベースへの登録機能を引き続き使用するためには幾つかの設定が必要です。

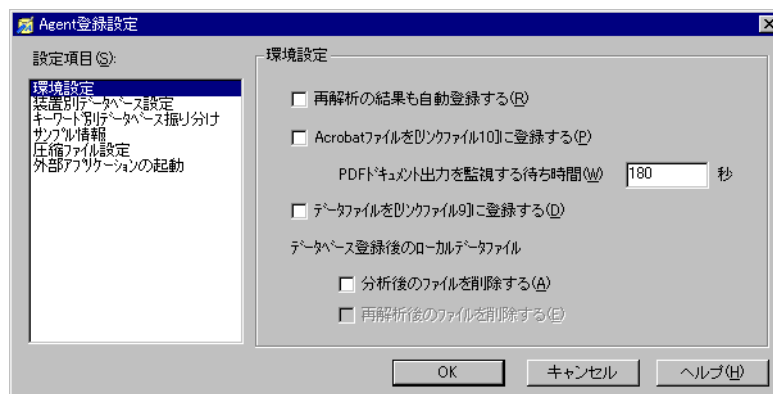
GCsolution Agent の自動登録  および手動登録  の機能は、本バージョンより GCsolution の標準機能として搭載されています。したがって、現在ご使用の自動登録および手動登録プログラムは不要となりますので、下記手順に従って本バージョンでのデータ登録設定をおこなってください。（操作は全てシステム管理者が行ってください。）

3-1 データ登録の設定手順

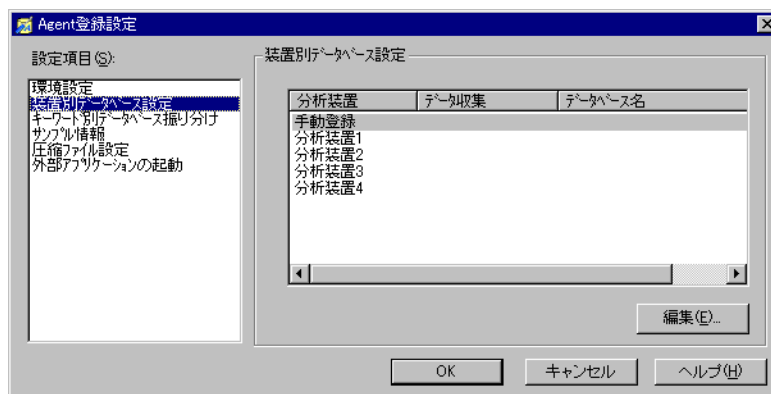
1. 〈GCsolution ランチャー〉を起動し、管理メニューの [データ登録設定] を選択します。



2. GCsolution 自動登録で設定されていた内容が表示されますので、設定に間違いが無いことを確認します。



この時、手動登録先となるデータベースファイルの選択を、[装置別データベース設定] で行っておくことをお勧めします。（なお、手動登録は、本バージョンでは、データ エクスプローラーの右クリックメニューで実行します。）



3. [OK] ボタンを押してデータ登録設定画面を閉じます。

- ・ なお、GCsolution 自動登録にあった下記の設定は、本バージョンでは不要となりましたので削除されています。
 - ・ 「環境設定」の「通常の方法でログインする」「システムユーザーによる自動ログイン」「任意のユーザーによる自動ログイン」
 - ・ 「環境設定」の「パソコン起動時に自動起動する」
 - ・ 「圧縮ファイル設定」の「ファイル圧縮の経過を表示する」

3-2 GCsolution 自動登録プログラム自動起動の解除手順

GCsolution 自動登録プログラムを、パソコンの起動と連動して自動起動していた場合には、下記手順でその設定を解除してください。

1. GCsolution 自動登録を起動します。
2. [環境設定]の「パソコン起動時に自動起動する」のチェックを外します。
3. [終了]ボタンを押して、GCsolution 自動登録を閉じます。

さらに、Windows を複数のユーザーアカウント でご使用になられていた場合は、全ユーザーアカウント のスタートアップメニューから自動起動のショートカットファイル(通常、ファイル名は「Gcsol_Tt2.lnk」)を削除します。

4. Windows エクスプローラーを起動します。
5. Windows システムのあるドライブ (通常 C:) の、「Documents and Settings」フォルダ及びそのサブフォルダ内の「Gcsol_Tt2.lnk」ファイルを検索します。
6. 検索結果に表示された「Gcsol_Tt2.lnk」ファイルをすべて削除します。

3-3 PDF ファイルのデータベース登録について

バージョン 2.3 以降では、データ登録設定で、PDF ファイルをデータベース登録する設定(「Acrobat ファイルを [リンクファイル 10] に登録する」)にしているときには、GCsolution で分析終了後にレポート 出力しない設定にしている場合でも、必ず PDF ファイルを出力して自動登録します。

旧バージョンでは必要であった、データベース登録だけのために、サンプル登録やバッチテーブルでレポート 出力の設定をおこなっていただく必要はございませんのでご注意ください。

なお、手動登録時には、自動では PDF ファイルを出力しませんので、予め手動で PDF ファイルを出力した後に手動登録をおこなってください。